

# 広報 きたもと

きっと、もっと、きたもとが好きになる 旬な話題をお届け!

10月  
2018 No.968

特集面

「特集Ⅰ」

きたもとを

「ゆるゆる」に。

二十五年前、「宵まつり」に込めた願い

「特集Ⅱ」

#きたもとの未来をしゃべくり懇談会

25年

北本まつり「宵まつり」  
誕生から今年で25年



# きたもとを「ふるさと」に。

二十五年前、「宵まつり」に込めた願い

平成6年 第1回 宵まつり



1



5



2



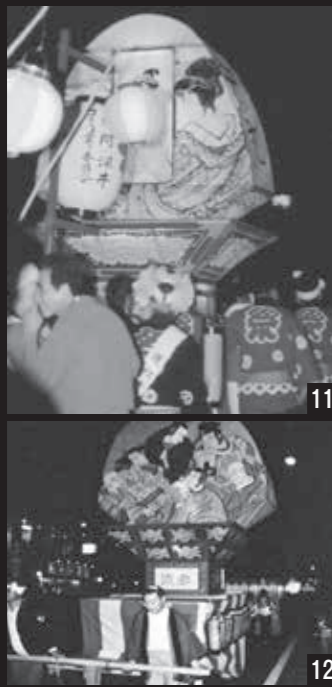
6



4



3



11



12



8



10



9



7

平成7年～平成22年

平成23年～現在



15



13



16



14

## 「宵まつり写真展」

開催します

期間：10月22日(月)～11月2日(金)  
場所：市役所庁舎ホール

25年

## 北本まつりの由来

地方からの転入者が大半を占めていた北本市。市民の「北本を第2のふるさとにしよう」との想いから、昭和61年に北本まつりは始まりました。当初は、農産物の直売や模擬店などが中心で、日曜日に1日だけ開催されていました。その後、今から25年前の平成6年に、より多くの市民が参加できるようにと企画を練り直し、土曜日夜の「宵まつり」・日曜日の「本まつり」の二日間にわたって開催することになりました。これが「宵まつり」の始まりです。

## 第1回「宵まつり」

平成6年

第1回「宵まつり」では、まつりを盛り上げるため、扇形の北本ねぶた(1)が2基と、人型の会津坂下ねぶた(2)のほかは、各地域コミニティ委員会や市役所職員有志の竹竿に数十の提灯をつるした竿灯(3、4)、それに囃子連(5)や地元の子どもたちなどがねぶたの運行に参加していました。また、市外から招へいた和太鼓団体と市内のお囃子・和太鼓による「源氏ゆかりの和太鼓の競演」(6)も行われ、初めての宵まつりに大きく花を添えました。

当時の写真に見られる竿灯の明かりがいくつも連なる様子は、ねぶたの数が少ない25年前の宵まつりならではの風景といえます。また、宵まつり初期のねぶたは担ぎが主流で、ねぶたの前後に人が乗り、それを大勢で担ぐのが特徴でした。

## ねぶたが続々と登場

平成7年～平成22年

平成7年以降、ねぶたの本場・青森県弘前市の絵師の指導を受けながら、地域コミニティ委員会でねぶたの製作に取りかかるようになりました。定番の扇形のねぶたから、人型のねぶたや箱型のねぶた、桜型のねぶたなど、さまざまなねぶたが宵まつりに登場し、第1回の平成6年では3基だったねぶたが、平成22年には25基ものねぶたや囃子山車が宵まつりで運行するまでにになりました(7～12)。

## 伝統融合、今日の宵まつりへ

平成23年～現在

平成23年には、市制40周年を記念し、弘前市のねぶたばやしと群馬県太田市の上州ねぶた会(13)が参加し、まつりを大いに盛り上げました(上州ねぶた会は現在も宵まつりに参加しています)。これがきっかけで、弘前市から担ぎねぶたの寄贈や(14)、一流講師陣によるねぶた絵とお囃子の講習会を開催しました。この参加者などが中心となって「北本ねぶた隊」を結成し、ねぶたの運行に加わっています(15)。また、平成25年から囃子山車の団体が西口ロータリーに集合して一斉に演奏を競う「ひっかわせ」(囃子の競演)を取り入れ、「宵まつり」の大きな見せ場となっています(16)。このようにして、宵まつりは様々な伝統を融合させながら、25年前に始まった当初の「市民手作りのまつり」を受け継ぎ、今日に至るのです。



**今年初!** 外国人向け「宵まつり」体験ツアー



ツアー発案者 福永夏輝さん

まつりは国や言葉の違いを超えてみんなが楽しめるもの! そこで、外国人が「宵まつり」に参加し、北本まつりの魅力を実際に体験できるツアーを開催します。

ツアー参加希望の方は  
北本市観光協会へ!  
☎591-1473

外国人に北本をもっと深く知る機会を作りたいと思い、北本まつりを「見る」のではなく「参加する」ツアーを企画しました。去年、留学生の友人たちに法被や鉢巻を身に付けてねぶたの運行を体験してもらったところ「地元の人たちと交流ができて楽しかった」という声をたくさんもらいました。今年は、正式にボランティアガイドを公募し、参加者も自分たちも楽しめるツアーを考えました。このツアーで世界の人たちとのつながりが生まれて、北本まつりの参加者が増えたらいいなと思っています!

北本まつりを  
世界に発信!

「宵まつり」の  
定番はこれ!!



流し踊り・パフォーマンス

15:30~ 西中央通り内各会場

①北本駅西口ロータリー・西中央通りは、11月3日(土・祝)14:30~20:30は車両の通行ができません。

囃子の競演 17:50~18:10 西口ロータリー

歴史と伝統の囃子連の山車が集結! 迫力ある競演を披露!!



産業まつり 11月4日(日) 9:30~14:30 北本市役所



来! 見! 食! 食べて!  
ふるさとの味

地元農産物や会津坂下町の特産品の販売、商工バザールのほか、各種団体によるパフォーマンスなどが予定されています。

農産物共進会

展示 9:30~11:00

即売 11:30~14:00

(11:30~11:45は優先購入券をお持ちの人のみ入場可)



※展示・即売共に開始時刻より前に並ぶことはおやめください  
※優先購入券は9:30から配布します(数に限りがあります)  
※購入は一人2点まで

北本の逸品  
目押し!

弘前の伝統が  
北本に根付く

毎年8月にねぶたの本場・青森県弘前市からねぶた絵とお囃子の講師をお呼びし、市民を対象に講習会を行ってきました。今年は、弘前の講師から学んだねぶた絵やお囃子を北本に根付かせようと、これまでの講習会の参加者たちが自分たちの手でねぶた作りやお囃子の練習会を開催しています!



今年初! 弘前の絵師から伝統を継承  
「北本ねぶた絵師会」結成!!

弘前のねぶた絵師から長年指導を受けてきた市民の皆さんが、自分たちの手でねぶた絵の魅力を広めたい! と、今年7月に「北本ねぶた絵師会」を結成! 今年は東中学校、北本中学校の美術部の皆さんと一緒に2基分のねぶた絵を描きました。製作したねぶたは範頼ねぶた1号・2号として宵まつりで運行します。



北本ねぶた絵師会  
野川美津子さん

ねぶた絵の特徴は赤・緑・黄色を基調にグラデーションを付けることです。男性の顔は茶系統、女性の顔は薄い赤を使い、橙色を調合して顔の表情を出していきます。描き手によって色合いが異なるのもねぶた絵の魅力です。若い人たちにその魅力を伝えるため、これからも活動していきます!

市民だけで行った  
ねぶた囃子練習会



弘前の講師から指導を受けた市民が中心となり、参加希望者を集めて9月から毎週練習を重ね、腕を磨いています。まつりをリードできる笛と、迫力ある太鼓を目指します。



北本ねぶた隊  
鈴木敏雄さん

太鼓は思いっきり叩くと気持ち良くていい運動にもなります! 強弱をつけたり笛に合わせてリズムをとるのが難しいですが、お客さんの前で演奏するのが楽しみです! まつりは「見る」より「参加する」ほうが楽しいですよ!

今年初! 北本高校生も  
ねぶた作りに挑戦!!



中里愛香さん 諸永みりあさん  
山本星奈さん

絵柄は埼玉の歴史上の人物「熊谷直実と平敦盛」や浮世絵などを参考にみんなで考えました! オリジナルの桜の絵柄や、北本高校の校章も入れたので、普通のねぶたとはまた違った出来栄になっています! 当日は北高生で運行するのでぜひ見に来てくださいね!

北本まつり  
「宵まつり」  
鋭意準備中!

11月3日(土・祝) 15:00~20:00  
北本駅西口・西中央通り



北本ねぶた絵師会の皆さん